

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-060363

(43)Date of publication of application : 29.02.2000

---

(51)Int.Cl. A01K 85/00  
A01K 85/01

---

---

(21)Application number : 10-240105 (71)Applicant : ICOM:KK  
SHINAI BUSSAN KK  
(22)Date of filing : 26.08.1998 (72)Inventor : MIYAMAE MIKIO  
MIURA SHIGEKIYO

---

---

(54) LURE FOR FISHING AND ITS PRODUCTION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a fishing lure which does not pollute rivers and seas, is produced by molding raw materials that are degraded and eliminated with the passage of time, and has an excellent fish-gathering property, and to provide a method for producing the fishing lure.

SOLUTION: This fishing lure comprising a richly flexible rubbery elastic molded product similar to a live bait is obtained by mixing soluble gelatin as a base material with at least water, sorbitol, a sweetener, a perfume, a coloring agent, or the like, and subsequently molding the mixture in a prescribed mold.

---

---

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 04.08.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration] dismissal

[Date of final disposal for application] 24.02.2003

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-60363

(P 2 0 0 0 - 6 0 3 6 3 A)

(43) 公開日 平成12年2月29日(2000.2.29)

(51) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード (参考)
A01K 85/00		A01K 85/00	B 2B107
85/01			G
			H
			J
			N
審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全4頁)			

(21) 出願番号	特願平10-240105	(71) 出願人	591110263 有限会社アイコム 東京都豊島区駒込1丁目16番地11号
(22) 出願日	平成10年8月26日(1998.8.26)	(71) 出願人	598109006 津愛物産有限会社 東京都品川区東五反田1丁目3番7号
		(72) 発明者	宮前 幹雄 東京都豊島区駒込1丁目16番11号 有限会 社アイコム内
		(74) 代理人	100069903 弁理士 幸田 全弘
		最終頁に続く	

(54) 【発明の名称】 釣り用疑似餌とその製造方法

(57) 【要約】

【課題】 河川や海洋の汚染がなく、経時的に分解して消滅する素材を使用して成形した集魚性に優れた釣り用疑似餌とその製造方法を提供する。

【解決手段】 可溶性のゼラチンをベースとし、これに少なくとも水と共にソルビトール、甘味料、その他香料、着色剤等を混ぜ、所定の型内において成形し、生餌に似た可撓性に富んだゴム状弾性の成形体からなる釣り用疑似餌を得る。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】ゼラチンをベースとし、これに少なくとも水と共にソルビトールを配合し、甘味料、香料および着色剤によって生餌に類似した集魚性のあるゴム状弾性の成形体としたことを特徴とする釣り用疑似餌。

【請求項2】前記ゼラチンに対するソルビトールの配合量は、ゼラチン／ソルビトールの重量比が10～40／1の範囲であることを特徴とする請求項1記載の釣り用疑似餌。

【請求項3】前記甘味料と香料は、着色剤と共にあらかじめ成形体中に含有させるか、もしくは成形体表面に付着させたものであることを特徴とする請求項1に記載の釣り用疑似餌。

【請求項4】ベースとなるゼラチンに、ソルビトールと、水飴、グラニュー糖、粉砂糖から選ばれた甘味料の1種以上と、着色剤および香料を配合し、この配合物を水と共に所定の温度下で攪拌混合し、ついで脱泡したのち、生餌を型取りした型内に流し込んで常温において所定時間静置し、型から取り出して生餌に類似した集魚性のあるゴム状弾性の成形体を得ることを特徴とする釣り用疑似餌の製造方法。

【請求項5】ベースとなるゼラチンに、ソルビトールと着色剤を配合し、この配合物を水と共に所定の温度下で攪拌混合し、ついで脱泡したのち、生餌を型取りした型内に流し込んで常温において所定時間静置し、型から取り出し、得た成形体の表面に、水飴、グラニュー糖、粉砂糖から選ばれた甘味料の1種以上と香料とからなる溶解液を浸漬、塗布、吹き付けなどの手段によって付着させて生餌に類似した集魚性のあるゴム状弾性の成形体を得ることを特徴とする釣り用疑似餌の製造方法。

【請求項6】前記ゼラチンに対するソルビトールの配合量は、ゼラチン／ソルビトールの重量比が10～40／1の範囲であることを特徴とする請求項4又は5に記載の釣り用疑似餌の製造方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、河川や海洋の汚染がなく、期間の経過によって分解消滅する素材を用いて形成した優れた集魚性の釣り用疑似餌と、この釣り用疑似餌の製造方法に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】海釣りや溪流釣りのための釣り餌として生餌や練り餌など本物の餌以外に多数の疑似餌が使われている。かかる釣り用疑似餌の製造方法として、たとえば、特開昭48-13195号公報には、可溶性ゼラチン、ポリビニルアルコール（PVA）、海老の脳油からなる糊状物を餌型に半分程注入し、その上にかんぴょうなどの吸収性繊維質物、海老の脳油および発光材または着色蛍光剤をのせ、これに糊状物を注入して成形し、乾燥して表皮を形成することを開示している。また、特公

昭53-5240号公報では、ゼラチンとカラギーナンおよびタマリンドガムとグリセリンとからなるゲル材と魚類の嗜好する集魚材とからなるゲル状の疑似餌を開示している。さらに、特開平6-113700号公報には、グルコマンナンにゼラチンなどの補強材と、魚の好む色と味を付ける添加剤を水と共に配合して型取りした疑似餌が記載されている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】これら公知の疑似餌は、いずれも動物性のタンパク質である不溶性のコラーゲンを可溶性に変性したゼラチンを含むもので、したがって、このゼラチンを素材とした疑似餌は、水に不溶のプラスチックなどで作った疑似餌に比べて経時的に水に溶けて消滅し、悪臭や水質汚染などの環境悪化を生じない点において有効なものであるが、疑似餌として未だ改良の余地が残されているものである。

【0004】すなわち、特開昭48-13195号公報に示されているものは、疑似餌の中心部にかんぴょうなどの吸収性繊維質物を配装し、その周囲を可溶性ゼラチンとPVAで包むものであるため、製造工程が複雑であることに加えて、使用する材料が多岐に亘っているため疑似餌のコストに問題がある。また、特公昭53-5240号公報に開示された疑似餌は、ゼラチンのみならず、これに粘性のある糊料として知られているカラギーナンやタマリンドガム、さらにグリセリンなどの多くの素材を併用しているため、製造工程が複雑にならざるを得ない。前記した特開平6-113700号公報に記載された疑似餌は、グルコマンナン（こんにやく）とゼラチンを混練機で混練してこんにやくを凝固させ、これを型内に入れて押し固めるという厄介な手段が必要である。

【0005】この発明はかかる現状に鑑み、疑似餌の製造をより簡略化して安価な疑似餌を容易に得んとするものである。この発明の他の目的は、水中で適度に動いて魚が抵抗なく食いつくことができる疑似餌を提供せんとするものである。また、この発明のさらに他の目的は、大きな引裂強度によって針のかかりがよい疑似餌を提供せんとするものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】これらの目的を達成するため、この発明における請求項1記載の釣り用疑似餌は、ゼラチンをベースとし、これに少なくとも水と共にソルビトールを配合し、甘味料、香料および着色剤によって生餌に類似した集魚性のあるゴム状弾性の成形体としたことを特徴とするものである。

【0007】この発明における請求項4記載の釣り用疑似餌の製造方法は、ベースとなるゼラチンに、ソルビトールと、水飴、グラニュー糖、粉砂糖から選ばれた甘味料の1種以上と、着色剤および香料を配合し、この配合物を水と共に所定の温度下で攪拌混合し、ついで脱泡し

たのち、生餌を型取りした型内に流し込んで常温において所定時間静置し、型から取り出して生餌に類似した集魚性のあるゴム状弾性の成形体を得ることを特徴とするものである。

【0008】さらに、この発明の請求項5記載の釣り用疑似餌の製造方法は、ベースとなるゼラチンに、ソルビトールと着色剤を配合し、この配合物を水と共に所定の温度下で攪拌混合し、ついで脱泡したのち、生餌を型取りした型内に流し込んで常温において所定時間静置し、型から取り出し、得た成形物の表面に、水飴、グラニュー糖、粉砂糖から選ばれた甘味料の1種以上と香料とからなる溶解液を浸漬、塗布、吹き付けなどの手段によって付着させて生餌に類似した集魚性のあるゴム状弾性の成形体を得ることを特徴とするものである。

【0009】

【発明の実施の形態】この発明の疑似餌は、コラーゲンの変性で得られる可溶性のゼラチンをベースとし、該ベースに少なくともソルビトール、水飴とグラニュー糖、粉砂糖などからなる甘味料、香料、着色剤などを使用して生餌に類似した集魚性のあるゴム状弾性の成形体としたものである。

【0010】この疑似餌に使用するソルビトール（自然界においては異性体としてD-型のみが存在している）は、加工食品用の素材として幅広く利用されるもので、吸湿性を有し、ゼラチンのようなたんぱく質と混ぜたときに好適な結合組織を形成することができるものである。

【0011】この発明においては、かゝるゼラチン、ソルビトールに着色剤、甘味料および香料をあらかじめ配合し、成形によってこれら着色剤、甘味料および香料を成形体の内部に含有させてもよいが、甘味料と香料は、これをあらかじめ加えることなく食用油などに混ぜてソーコイルと称するオイル液を別個に調製し、これを得られた成形体の表面に浸漬、塗布、吹き付けなどの手段で付着させて集魚性を高めることができ、また、この成形体内部への含有と表面への付着を併用させてもよい。

【0012】ベースとなるゼラチンに対するソルビトールの好ましい配合量は、ゼラチン／ソルビトールの重量比として10～40／1の範囲であり、この範囲において生餌に類似した最も好ましいゴム状弾性を有する成形体とすることができる。

【0013】使用する甘味料は水飴、グラニュー糖および粉砂糖であり、このうちの1種以上を使用することができるが、併用の場合にはほぼ等量として用いることが好ましい。

【0014】香料としては、水中において魚の好む臭気を発散するものであれば特に制限はなく、魚が好む天然ハチミツオイルやアミノ酸、アニスオイル、イカ油が好ましく使用される。

【0015】着色剤としては、成形体を魚が好む色彩に

着色することができる顔料、色素などであり、食品添加物として認められた各種の着色剤が使用され、顔料として蓄光顔料、蛍光顔料も使用可能である。この着色剤は、好ましくはゼラチンやソルビトールにあらかじめ加えて着色する。

【0016】この発明の釣り用疑似餌の製造は、たとえば、粉末状のゼラチンに水を加え、湯煎にして温度約60℃の溶解物を得、これに水飴、グラニュー糖、粉砂糖等の甘味料とソルビトールを溶かした温度約125℃の液と、約60℃の水に香料、着色料を加えた液とを混合して温度約90℃の溶解液とし、これを約60分間脱泡した後、所定の型に流し込み、常温において約20時間静置し、型から取り出すことによって型取りされた成形体を得ることができる。

【0017】なお、着色剤は、ゼラチン、ソルビトールなどを溶解した液に混合し、甘味料と香料とは、前記のとおり得られた成形体の表面に付着させることによって好適な疑似餌とすることができる。

【0018】型取りされる成形物の形状としては、好ましくは、川魚用として、ブドウ虫、ヤナギ虫、サシ、アカ虫、クチボソ、ハチ（幼虫及びサナギ）など環虫類、海魚用として、青イソ、ゴカイ、ジャリメなどの形状とするものであるが、他にもミミズ、ザリガニ、ドジョウ、イクラ、アマガエルなどの水棲動物の形状とすることができ、その形状や大きさには特に制限はない。

【0019】

【作用】この発明の疑似餌は、コラーゲンの変性によって得られる可溶性のゼラチンをベースにして、このゼラチンとの間で適度な結合組織を形成するソルビトールを混ぜることによって、嚙むとゴムのような歯ごたえのある引裂強度が大きく、可塑性に富んだゴム状弾性を有し、水中においては適度な動きを生じ、その形状と水中における挙動および使用した前記甘味料、香料、着色剤などが相俟って優れた集魚性を発揮する。

【0020】この発明の疑似餌の製造方法は、湯煎によって得られたゼラチンの水溶解物にソルビトール、着色剤を加え、これに水飴、グラニュー糖、粉砂糖などの甘味料と香料を加えるか、加えずして所定の温度下で脱泡させたのち、これを型内に流し込んで常温において所定時間静置してゲル化させ、型から取り出すことによって生餌に酷似した疑似餌を容易かつ安価に得ることができるもので、前記甘味料と香料をゼラチンとソルビトールに配合しない場合には、これらを溶解した別個の液を得られた成形体の表面に付着させることによって優れた集魚性の疑似餌を得ることができる。

【0021】

【実施例】以下、この発明の釣り用疑似餌とその製造方法の実施例について、より具体的に説明する。

<実施例1> 16メッシュバスのゼラチン38gを50ccの水に加え、湯煎によって溶解して温度約60℃の

ゼラチンの水溶解物を得た。別に、水飴180gとグラニュー糖180gおよびソルビトール2gを混ぜて直火で温度約125℃に加熱して液状の甘味料を得た。一方、天然ハチミツオイルを主成分とした香料2ccと、紅褐色に着色する着色剤2ccを5ccの水に溶解して温度約60℃に保持した液を調製した。温度約60℃の前記ゼラチンの水溶解物と、温度約125℃の液状甘味料および温度約60℃の香料と着色剤の液を混合し、攪拌することにより温度約90℃の混合物を得、これを約70℃の温度下で60分間脱泡したのち、ヤナギ虫の形状に型取りした雌雄の型内に流し込み、常温下で約20時間静置した。かくして得られる成形物を型から取り出してヤナギ虫に似た紅褐色に着色された半透明の疑似餌を得た。

【0022】＜実施例2＞16メッシュパスのゼラチン38gを50ccの水に加え、湯煎によって溶解して温度約60℃のゼラチンの水溶解物を得た。別に、2gのソルビトールと紅褐色に着色する着色剤2ccとを混ぜた温度約60℃の液を調製した。前記ゼラチンの水溶解物と、ソルビトールと着色剤の混合液を混合し、温度約90℃に維持して攪拌したのち、約70℃の温度下で65分間脱泡した。ついで、これをミミズの形状に型取りした雌雄の型内に流し込み、常温下で約20時間静置した後、得られた成形物を型から取り出した。一方、水飴180gとグラニュー糖180gと天然ハチミツオイルを主成分とした香料2ccを食用油に混ぜた温度約90℃のソークオイルを調製し、このソークオイルの中に前

記成形物を浸漬し、表面にソークオイルが付着したミミズに酷似した疑似餌を得た。

【0023】

【発明の効果】この発明の疑似餌は、可溶性のゼラチンをベースにして、このゼラチンとの間で適度な結合組織を形成するソルビトールを混ぜることによって、噛むとゴムのような歯ごたえのある引裂強度が大きく、可塑性に富んだゴム状弾性の成形体になり、この成形体を着色剤、甘味料、香料などによって生餌に酷似した臭気と色合いの疑似餌としたものである。この疑似餌は、水中においては適度な動きを生じ、その形状と水中における挙動および使用した前記甘味料、香料、着色剤などが相俟って優れた誘魚性を発揮するものである。

【0024】この発明の疑似餌の製造方法は、湯煎によって得られたゼラチンの水溶解物にソルビトール、着色剤を加え、これに水飴、グラニュー糖、粉砂糖などの甘味料と香料を加えるか、加えずして所定の温度下で脱泡させたのち、これを型内に流し込んで常温において所定時間静置してゲル化させ、型から取り出すことによって生餌に酷似した疑似餌を容易かつ安価に得ることができるもので、前記甘味料と香料をゼラチンとソルビトールに配合しない場合には、これらを溶解した別個の液を得られた成形体の表面に付着させることによって優れた集魚性の疑似餌を得ることができる。

【0025】この発明によって得られる疑似餌は、経時的に水に溶けて消滅し、悪臭や水質汚染などの環境の悪化を生じない点において優れたものである。

フロントページの続き

(72)発明者 三浦 繁清  
東京都品川区東五反田1丁目3番7号 津  
愛物産有限会社内

Fターム(参考) 2B107 BA41 BA59 BA61